

在宅復帰におけるチームケアを 目指して

～多職種での在宅訪問を実施して～

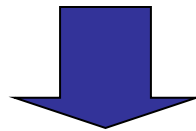
介護老人保健施設 恵仁荘

林 十紀

【はじめに】

- 昨年、恵仁荘が在宅強化型老健となり、
自宅🏠へ74名、在宅関連施設🏢へ20名
の方が退所された。
- 更なる在宅復帰機能強化の為に、目標に
沿ったケアが重要と考える。

しかし



- 職員により情報把握・ケア方法に差があった。

【方法 ①】

看介護職員39名を対象に意識調査を実施。

<質問内容>

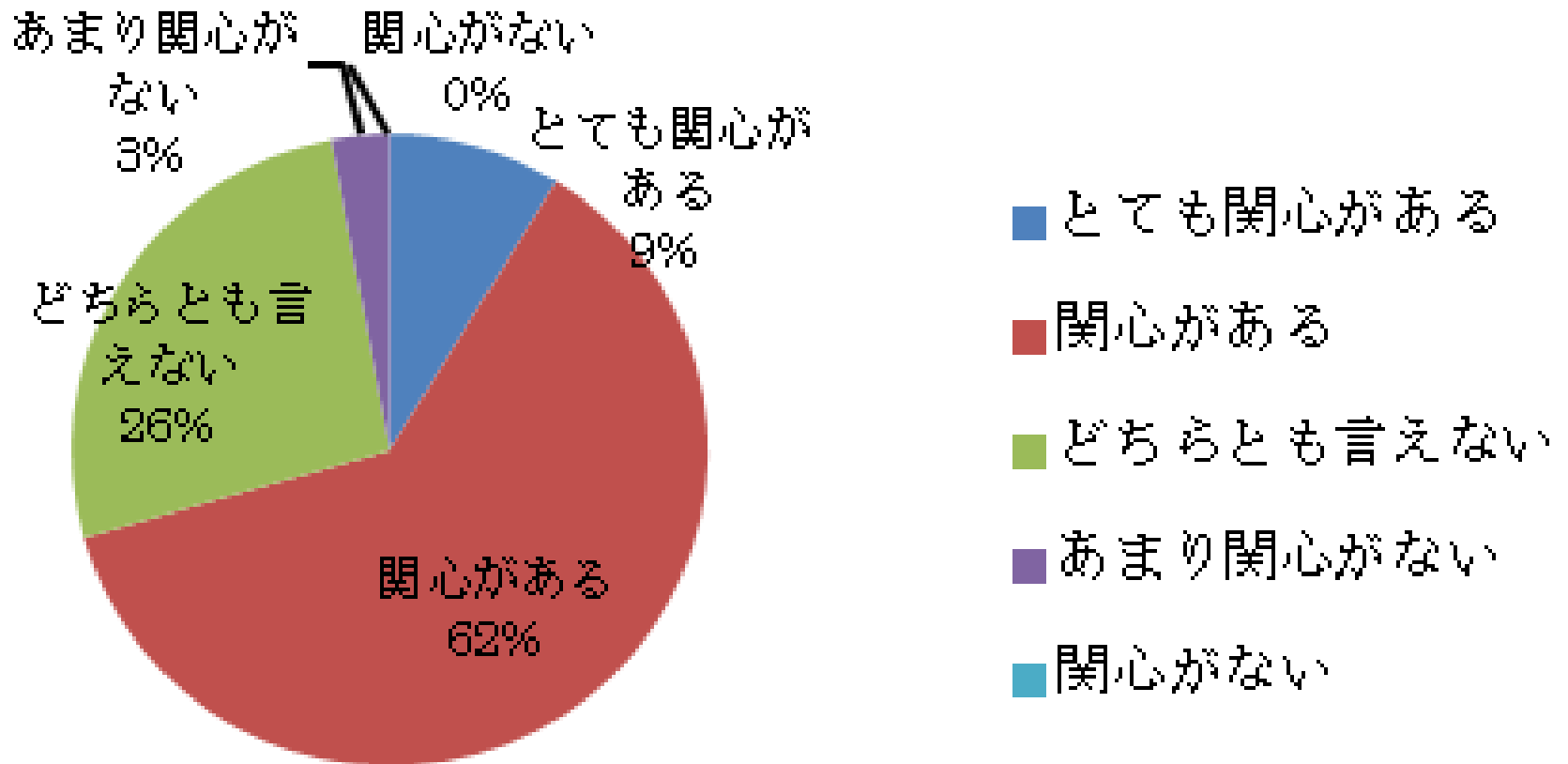
- ①在宅訪問への関心はあるか。
- ②在宅訪問へ同行したいか。
- ③在宅訪問報告書を見ているか。
- ④在宅訪問で知りたい情報は何か。

【方法 ②】

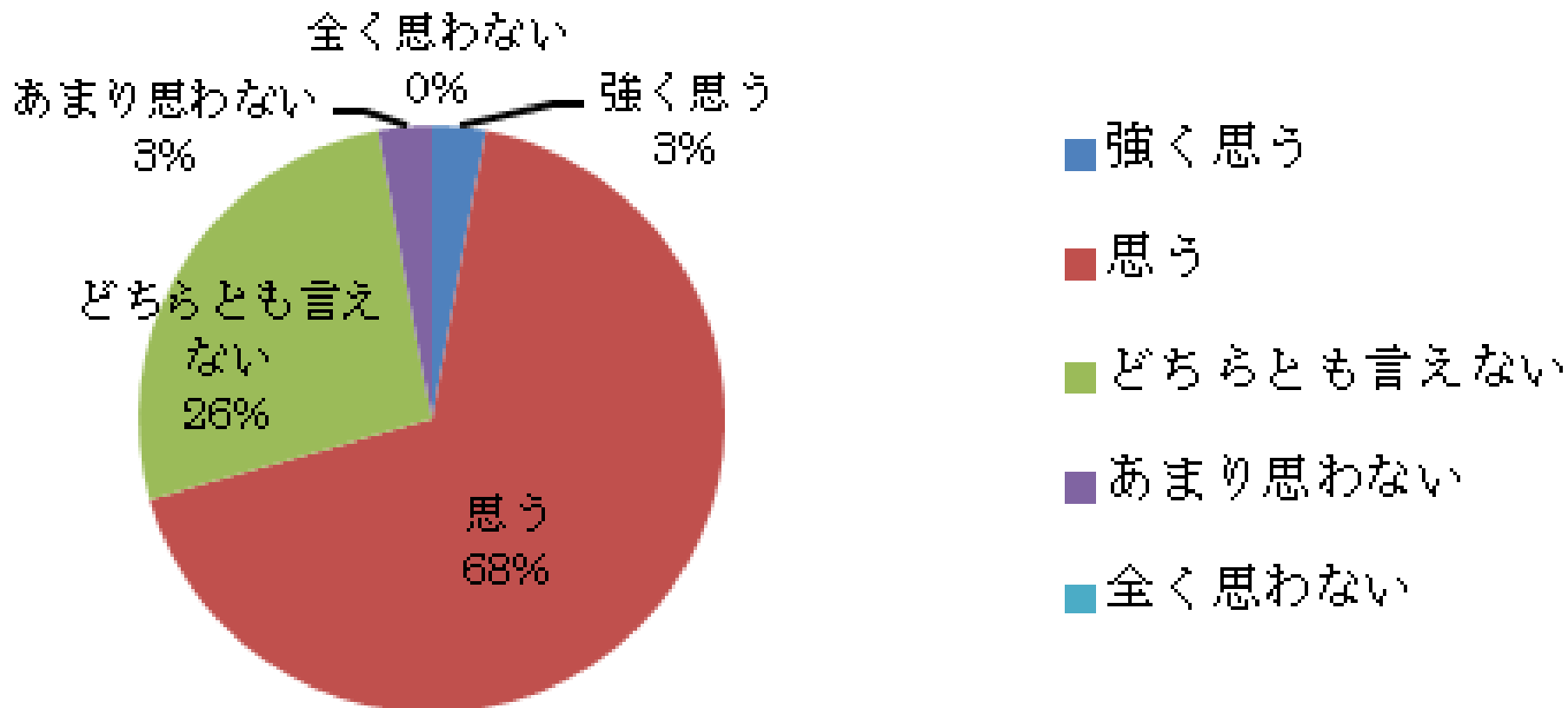
- * 同行訪問実施後、同行職員に対し、訪問前後の意識変化等について聞き取りを実施。
- * 退所後の生活状況について、当施設の通所リハ・訪問リハ職員へ聞き取りを実施。

【結果】

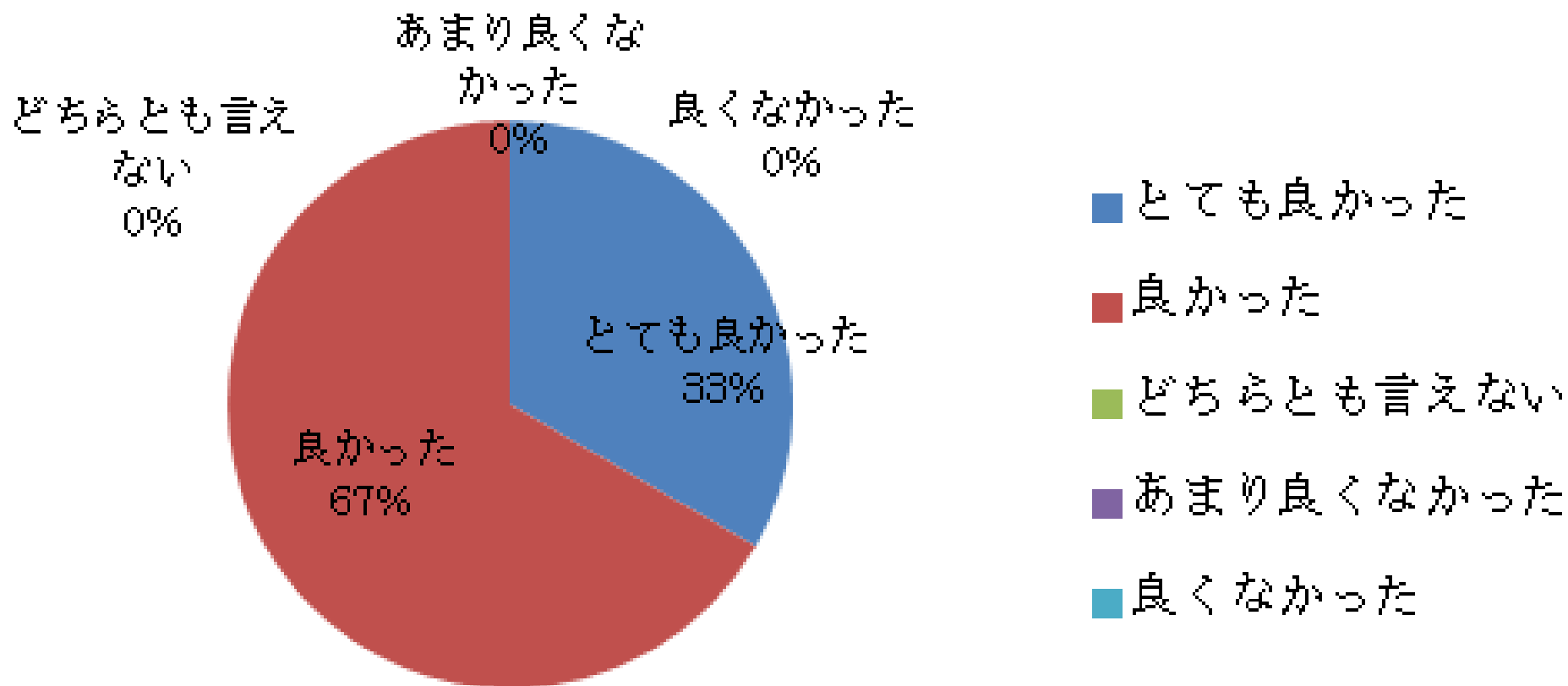
①在宅訪問に関心がありますか。



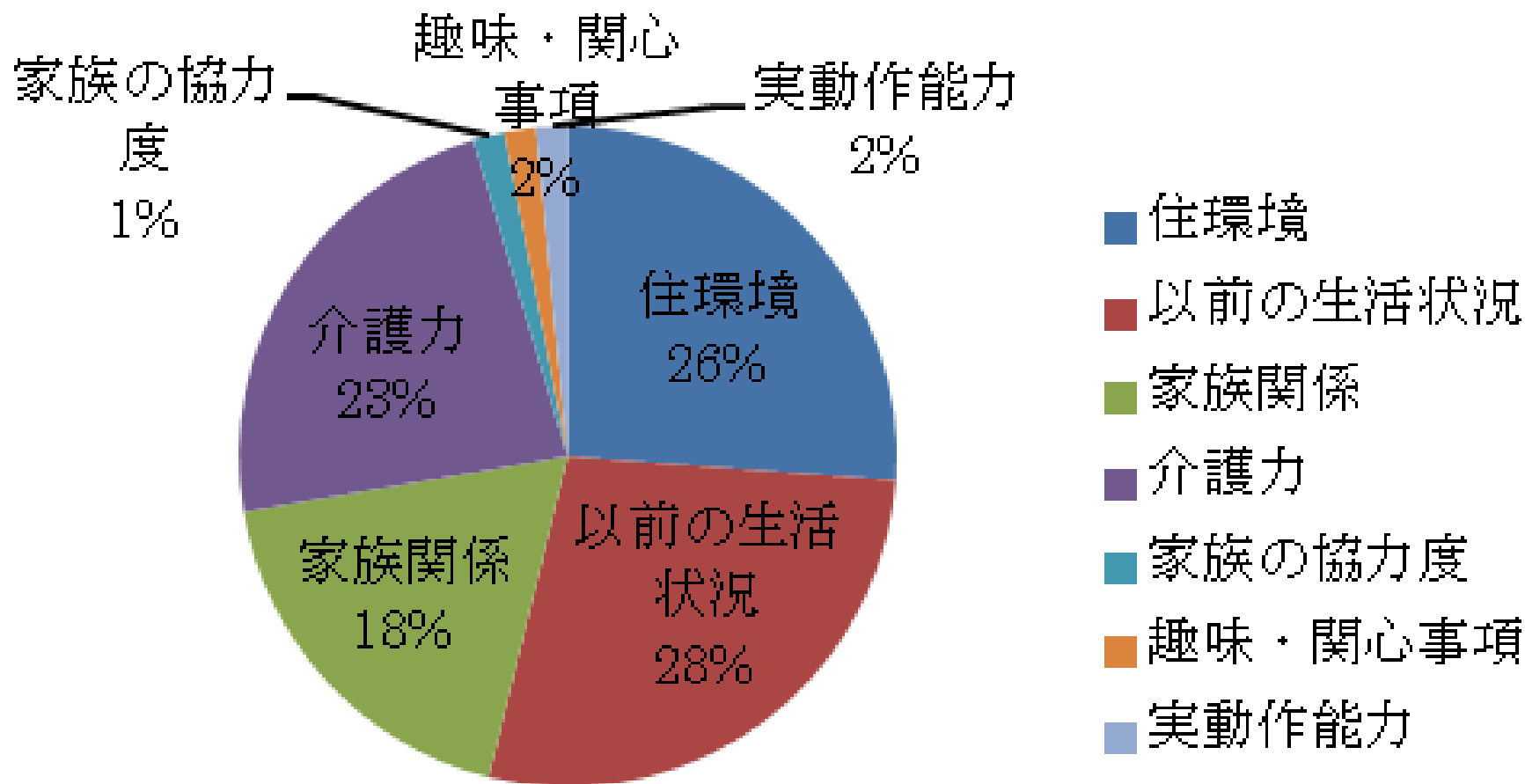
②在宅訪問に同行したいと思いませんか。



③在宅訪問報告書を見ていますか。



④在宅訪問で知りたい情報は何ですか。



【在宅訪問】

<入所前後訪問>

入所前1か月、または入所後7日以内に訪問。

自宅環境・生活状況の把握、退所へ向けた目標設定の為の確認。

<退所前訪問>

実際の生活環境での動作確認、環境調整を目的にご利用者同行での訪問。

 入所中の訪問

<退所後訪問>

退所後の生活状況の確認。

【多職種訪問の実施手順】

医師



訪問実施の許可

リハスタッフ

相談員

家族



ケアの同行調整



訪問日程の調整



看護師長

同行訪問

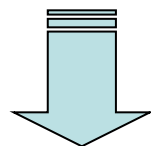
ご利用者
看介護スタッフ
リハスタッフ
ケアマネ



【多職種訪問の実施状況】

	4月	5月	6月	7月	8月	計
訪問件数	12	19	12	8	11	62
同行件数	2	2	1	5	2	12

同行訪問実施率
19.3%



試験的実施状況

【同行訪問した職員の意見】

- 訪問したことで実際の生活環境を把握でき、在宅復帰へ向けた具体的な課題が明確になった。
- 在宅復帰へ向け、自立支援を意識してケアを行うようになった。
- 同行訪問した利用者だけでなく、他利用者に対する視点も変化した。

同行訪問後、在宅復帰に対するケアの意識向上など効果が得られた。

【退所後の生活状況の 聞き取り結果】

- 歩行器で後ろ向きに歩く空間がある。
- 低い椅子から立ち上がる必要がある。
- 自宅まで砂利道がある。



今後、できる限り退所後の生活に沿った
今まで以上に細かな課題解決の必要

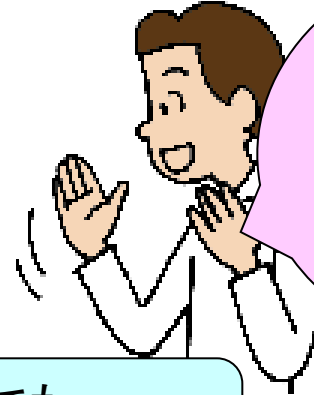
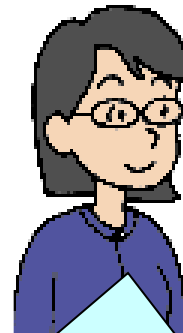
多職種（介護・PT・OT）同行訪問

《入所時の希望退所先：施設》

奥様も入院中であり、今後自宅での介護は難しい。今後は施設にお願いしたい。



【日々の関わりで…】



元気になられてますよ。奥さんと一緒の方がご飯も食べられますね。

家でも大丈夫かも…

【在宅訪問を実施】



実際に自宅で動作を確認

やっぱり家がいいね。帰って来ようか。



日々の関わりがご家族の気持ちを変化させ、自宅への退所へ繋がった。

【同行訪問での各職種の役割】

《看介護スタッフ》



生活状況の説明

《リハスタッフ》



介助方法の指導
環境調整の提案

《相談員・ケアマネジャー》



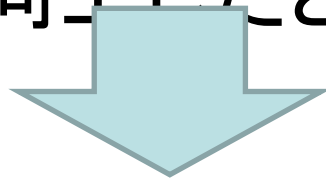
退所後のサービスの提案

【考察】

- 今回、在宅復帰に関する意識向上を目的に多職種での在宅訪問を実施した。
- 在宅生活を具体的にイメージすること、在宅生活を意識したケアを提供することにおいて、多職種訪問は効果的なものであった。
- 今後も個々人の在宅での課題解決へ向けたチームケアを提供していきたい。

【まとめ】

- 多職種同行訪問は、実施率19.3%と未だ試験的实施状況である。
- また、同行訪問経験者が、13名と少ない。
- しかし、全ての同行訪問経験者から在宅復帰に対する意識が向上したとの意見があった。



より多くの同行訪問を実施し、定着させることが更なる在宅復帰機能強化に繋がると考える。